



開校50周年 祝おう！みんなとつないだ50年

■ 50周年記念事業

未来へ はばたけ ふじみっ子 50th Anniversary

式典 11月22日(火)

児童の様々な体験・交流

1 学校経営に関する基本理念

学校は児童を伸ばすところである。

人間として調和のとれた児童を保護者・地域とともに育成する。

2 校訓 学校教育目標

仲よく	(徳)	ともに高めあう子
考え	(知)	進んで、学ぶ子
がんばろう	(体)	心身ともに健康な子

3 目指す学校像

笑顔があふれ何事にも本気で取り組む学校

～学校・家庭・地域が協調・協働して未来を創る児童を育てる～

4 目指す児童像

■ 本年度の合言葉は「笑顔と本気」

(1) 仲よく (徳)

- ・きまりを守る・相手の気持ちや立場を考えて行動できる
- ・家族、友達、学校、地域を大切にする

(2) 考え (知)

- ・話をよく聞く・自ら考え、互いに伝え合う・自主的に学習できる

(3) がんばろう (体)

- ・基本的な生活習慣を身に付ける・時間いっぱいがんばる・力いっぱい運動できる

小中連携「当たり前」のことが「当たり前」にできる児童

狭山台中 当たり前のこと十か条

- ① 明るくあいさつ元気な返事 ②人の話をしっかり聞く ③思いやりの心 ④時間を守る ⑤正しい服装
⑥整理整頓 ⑦正しい言葉遣い ⑧自分の役割を果たす ⑨無言清掃 ⑩時と場に応じた行動

5 目指す教職員像

(1) 児童・保護者・地域から信頼される教師

- ・誠意ある行動・使命感と謙虚さ・専門職としての指導力・サービスの厳正

(2) 児童へ安全・安心を提供できる教師

- ・安全な教育環境の整備・いじめ、仲間はずれのない人間関係づくり

(3) 学校経営への参画意識を持ち、行動できる教師

- ・学校教育目標の具現化を目指す・組織を生かした報告・連絡・相談
- ・共通理解、共通行動、学年経営

6 指導の重点

(1) 確かな学力の育成

- ・主体的・対話的で深い学びの実践 ・基礎・基本の確実な定着
- ・1時間の授業の充実 (児童が学びを実感できる授業の展開)

- ・一人一台のタブレットを活用した授業改善
- ・専科教員による英語科授業の充実・外国語活動の推進

(2) 豊かな心の育成

① 生徒指導・教育相談の充実

- ・不登校児童への対応・情報の共有、迅速な対応
- ・さやまっ子相談支援員、スクールカウンセラーとの連携
- ・真面目な生活態度の確立（善い行いを称賛・認める）・もくもく清掃

② 児童の笑顔があふれる学級づくり

- ・児童一人一人の活躍の場を確保し、自己肯定感（自尊感情）を育むと共に、児童同士、児童と教師の信頼関係の構築を目指す。
- ・Q-Uアンケート（年2回のうち、1回はHQU）の有効活用を図る。学級の実態を客観的に把握し、情報を学年内で共有し、良好な人間関係の育成に努める。

③ 「特別の教科道徳」の授業の充実

- ・人権意識の向上・指導過程を工夫して、考える道徳の推進を図る。

④ 特別活動の充実

- ・自己有用感を味わわせる学級活動（係・当番活動、学級会）
- ・異年齢集団との関わり（縦割り活動、委員会活動、クラブ活動）

⑤ 体験活動の充実

- ・生活科、総合的な学習の時間の充実・地域素材の活用や地域人材との交流

⑥ 特別支援教育の充実

- ・特別支援学級との交流の推進・配慮を要する児童への教育支援プランの活用
- ・ユニバーサルデザインを意識した授業の構築

(3) 安全・健康・体力の育成

① 安全・安心な学校

- ・交通安全指導の徹底・安全点検の確実な実施、不審者対応安全指導の徹底

② 健康の基本である体力の向上

- ・体育授業の充実と運動量の確保・早寝早起き朝ごはんの推進

(4) 家庭・地域との連携・協力

- ・コミュニティースクールの推進（狭山台中学校区での学校運営協議会）
- ・PTA、お父さんの会との協力体制・学校応援団の積極的な活用
- ・学校だより、学年だより、ホームページ、スクリレ等で情報を発信する

7 働き方改革の推進

■教職員が笑顔で子供たちと向き合うために

(1) ICT環境の有効利用

(2) 会議や話し合いの効率的な運営

(3) 在校時間を意識した働き方

- ・7時に開錠19時までには施錠 ・長期休業中は、8時過ぎ開錠17時施錠
- ・第3水曜日はノー残業デー、毎月21日前後はふれあいデー（18時に施錠）
- ・電話受付時間 7:30～18:00（18:00～翌朝7:30まではメッセージ対応）

(4) 富士見小リフレッシュ休暇の実施